

① 神在月

○ 稲佐ノ浜

67 普通、神無月かんなづきと呼ばれる11月は、島根の人々にとって特別な月です。というのも、ここに全国の神々が集まり、神在月かみありづきと呼ばれているからです。

○ 汐汲みの人々

68 1日の朝、稲佐の浜に汐汲みしおくの人々がいました。

69 不浄を払い清める信仰習俗として、昔から伝えられている行いです。

○ 出雲大社へ

70 竹筒に汲んだ潮水を持って出雲大社へお参りし、身を清めます。

○ 篝火ロンゲ

71 11月23日、午後7時。人々は稲佐の浜で、八百万の神を迎えます。

○ 神官たち

72 神々は海から龍蛇神りゅうじやせんの先導でやってくると思われています。

○ 龍蛇神を運ぶ

73 海を渡ってやってきた神々は神楽殿に案内されます。

○ 神楽殿PD

74 神楽殿は神々を迎える人々であふれています。

○神楽殿内部

○神事

○信者たち

☞ そして、神迎えの神事が始まります。